

- 問1 元軍の二度目の侵攻（弘安の役）に備えるため、鎌倉幕府が博多湾の海岸沿いに数キロメートルにわたって築かせた、石を積み上げて作られた防壁を何と呼びますか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 山城 2. 石垣 3. 万里の長城 4. 元寇防壁
- 問2 禅宗は、念仏や祈祷よりも「自分自身を見つめ、精神を鍛える」ことを重視しました。この宗教が当時の武士に広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 現世での利益や病氣平癒を祈る呪術的な側面が、戦場での加護を求める武士に好まれたから。
2. 華やかな建築や美術を重視する教えが、新興勢力である武士の権威を高めるのに有効だったから。
3. 厳しい修行を通じて自己の精神を律する姿勢が、生死をかけて戦う武士の気風に合っていたから。
4. 念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、多忙な武士の生活に適していたから。
- 問3 承久の乱と元寇における恩賞の違いと、元寇後の鎌倉幕府の政治の様子について説明した文として適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 承久の乱では獲得した領地が恩賞として配られ、元寇後には北条氏が守護を務める国の割合が増加しました。
2. 承久の乱と元寇の両方で十分な領地が恩賞として配られ、御家人の権力が強まりました。
3. 承久の乱後に御成敗式目が定められ、元寇後には御家人の借金をすべて帳消しにする徳政令が永久に実施されました。
4. 承久の乱では新しい領地が得られず恩賞が不十分でしたが、元寇では北条氏の地位が低下しました。
- 問4 1221年に発生した承久の乱は、武家政権と朝廷の関係における大きな転換点となりました。この乱の戦後処理として幕府が行った内容と、その目的の説明として正しいものを選びなさい。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 京都所司代を京都に設置し、天皇や公家の行動を制限するための法度を運用した。
2. 引付衆を鎌倉に設置し、御家人たちの間で急増していた領地争いの裁判を迅速に行わせた。
3. 六波羅探題を京都に設置し、朝廷の動きを監視するとともに西国の武士の統制を強化した。
4. 守護・地頭を全国に配置し、軍事・警察権の行使と年貢の徴収を確実に行わせた。
- 問5 鎌倉時代末期に「悪党」と呼ばれた人々が出現した背景や、その特徴について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
1. 元の襲来に備えるため、幕府の強力な統制下で九州の沿岸警備に従事した。
2. 生活に困窮した武士や新興の農民などが加わり、荘園領主に年貢を納めることを拒んだ。
3. 幕府から正式な役職として任命され、公領や荘園の管理や警察の役割を担った。
4. 朝廷から東北地方の統治を任せられた独自の有力な武士団であり、広大な領地を所有した。
- 問6 鎌倉時代後半、近畿地方を中心に活動し、荘園領主や幕府の命令に従わず、武力で抵抗した武士や地主などの集団を何と呼びますか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 防人 2. 御家人 3. 地頭 4. 悪党
- 問7 鎌倉時代に描かれた定期市の様子を伝える資料には、多くの人が集まる市のなかで、踊りながら念仏を唱えて布教活動を行う僧侶の姿が見られます。この人物が、民衆の救済を目指して開いた宗派の名称を答えなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）
1. 浄土真宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 臨済宗
- 問8 鎌倉時代に宋（中国）から日本へ伝えられ、のちの武士の精神や茶の湯などの日本文化に大きな影響を与えた仏教の教えと、それを伝えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 最澄が伝えた天台宗 2. 法然が伝えた浄土宗 3. 空海が伝えた真言宗 4. 栄西が伝えた禅宗（臨済宗）
- 問9 1232年に北条泰時が制定した御成敗式目について、この法律が制定された目的と内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 鎌倉幕府の将軍による独裁体制を確立し、執権の権限を制限するため
2. 生活に困窮した武士を救済するため、売却された領地を無償で取り戻す権利を認めるため
3. 御家人たちの領地をめぐる争いを、武士社会の慣習などに基づいて公平に裁判するため
4. 律令を強化し、朝廷の公家や寺社が持つ特権を武士にも等しく与えるため
- 問10 1185年、源頼朝が弟の源義経を捕らえることを名目に、朝廷へ認めさせて全国に設置した「地頭」の職務について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 荘園や公領ごとに配置され、土地の管理や年貢の徴収、地域の警察の役割を担った。
2. 将軍の補佐役として鎌倉に置かれ、幕府の政務や裁判の指揮を担った。
3. 承久の乱の後に京都に置かれ、朝廷の監視や西国の武士の統括を担った。
4. 国ごとに配置され、国内の御家人の統制や軍事、警察の役割を担った。
- 問11 鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて成立した、兼好法師（吉田兼好）が日々の思いや世相を綴った文学作品のジャンルと、その名称の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2019年 香川県公立入試 類似）
1. 随筆：枕草子 2. 軍記物語：平家物語 3. 紀行文：おくのほそ道 4. 随筆：徒然草
- 問12 鎌倉幕府において、北条氏が執権という立場から幕府の政治の最高権限を握る政治体制が確立された背景として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）
1. 室町幕府の管領にならって、将軍の補佐役の権限を強める改革が行われたから。
2. 源氏の正統な将軍が3代で途絶えた後、北条氏が将軍を補佐する立場として実権を握ったから。
3. 元寇の際に西国の御家人を統括するため、北条氏が九州に派遣されて権限を強めたから。
4. 後鳥羽上皇が幕府を倒すために挙兵した際、朝廷の役職として執権が新設されたから。
- 問13 室町幕府の第3代将軍である足利義満が建立した鹿苑寺金閣（金閣）は、各層で異なる建築様式が組み合わされています。この建築において、上層部に禅宗様の様式が取り入れられた背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 大規模な検地を実施するにあたり、寺院に土地の測量を依頼するなど実務的な協力関係があったため。
2. 座禅によって自力で悟りを目指す教義が武士に好まれ、禅宗が政治権力と深く結びついていたため。
3. 兵農分離を進める幕府が、有力な農民を統制するための精神的な支柱として禅宗を利用したため。
4. 念仏を唱えれば誰でも救われるという教えが急速に広まり、将軍もその流行を取り入れたため